



EVA Racing NEXT CUP2024

Rd.1&Rd.2

開催日：3月3日 ■会場：鈴鹿サーキット南コース

■天候：晴れ/DRY ■参加：16台



新生 NEXT CUP 開幕！ 佐藤佑月樹 & 松井海翔が優勝！

昨年までのOKチャンプに変わり、新たなスカラシップシリーズとして復活したNEXT CUP。今季はEVA Racingをタイトルスポンサーとして迎え、新たな幕開けとなった。

鈴鹿選手権、地方選手権とのトリプルタイトルとなる中、ネクストカップへ登録したドライバーは全員が、EVA Rをイメージしたオリジナルスーツ、マシンカラーで統一され、一体感を醸し出す。

参加ドライバーは、これからのステップアップを目指す若手ドライバーが中心で、夢を追いかけた熱戦が期待される。

ネクストカップのレースシステムは、タイムトライアル後、本来の予選ヒートを第1決勝と見立て、一大会2レース制を実施。今季は5大会10レースでシリーズタイトルが競われる。

タイムトライアルでは、昨年のジュニア選手権からステップアップしてきた木原太一がトップタイムをマーク。千分の1秒差でOKドライバーの菊池貴博が2番手となる。上位12位まではコンマ3秒以内と非常に僅差での戦いとなった。

第1戦決勝では、昨年の全日本選手権FS-125JAF部門チャンピオンで、今季はOKへの昇格も決まっている佐藤佑月樹が序盤にトップに立つと後続を引き離していく。後続を大きく引き離れた佐藤は、そのまま逃げ切りトップチェッカー。まずは幸先の良い一勝を挙げた。

第2戦決勝。スタート直後の1コーナー先で連勝を狙う佐藤と3番手スタートだった大津龍星がからみ、大津はリタイヤ。佐藤は再スタートしたものの最後尾からの追い上げとなる。これでトップには菊池が付けるが、地元で鈴鹿を知り尽くしペースに勝る松井海翔が逆転すると、そのままトップで周回を重ねていく。2番手にはTTトップだった木原が浮上し、松井の背後へ接近していく。

終盤、テールtoノーズとなったトップ争いだったが、最後は木原の猛攻を凌いだ松井が逃げ切り優勝。2位に木原、3位に第1戦から連続表彰台となる菊池が入った。

Rd.1

Pos.No.	Driver	Team	Frame	Engine	Q.P.	GRID
1	佐藤佑月樹	RT WORLD	EXPRIT	IAME	49.423	4
2	菊池貴博	K.SPEED WIN	DragoCORSE	IAME	49.412	2
3	大津龍星	K.SPEED WIN	DragoCORSE	IAME	49.423	3
4	松井海翔	HKC	KOSMIC	IAME	49.442	5
5	千田琉貴	Racing Team YRHKS	KOSMIC	IAME	49.777	13
6	木原太一	FLARE with HRT	KOSMIC	IAME	49.411	1

Winner 佐藤佑月樹 (RT WORLD)

前半はタイヤを流してしまったりもしていたのですが、後半に差が開いてからはタイヤを温存することを重視して丁寧に走っていました。

Rd.2

Pos.No.	Driver	Team	Frame	Engine	Q.P.	GRID
1	松井海翔	HKC	KOSMIC	IAME	49.442	4
2	木原太一	FLARE with HRT	KOSMIC	IAME	49.411	6
3	菊池貴博	K.SPEED WIN	DragoCORSE	IAME	49.412	2
4	元田心絆	AP SPEED	TONYKART	IAME	49.513	12
5	角田侑進	HRT	KOSMIC	IAME	49.705	9
6	梶尾義朝	Ash	KOSMIC	IAME	49.505	8

Winner 松井海翔 (HKS)

スタートで前の二人が接触して道が開けて、トップの人に対しては自分のほうがペースがあったので抜けるなと思って早めに仕掛けて離そうと思っていました。ただ、意外に後ろがついてきて焦ってしまいましたが、最後まで勝ててよかったです。